

ちゅうおう

2025
3/1

デジタル版も
こちらで
ご覧になれます！



Multilingual

令和3年3月、気候変動問題を背景に「ゼロカーボンシティ中央区宣言」を表明した中央区。2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指しています。

ゼロカーボンシティの実現に向けた機運の醸成と、区民や区内事業者などの脱炭素行動の継続・拡大を図ることを目的に、10代～20代の有志を募り、令和5年度に「Team Carbon Zero(チームカーボンゼロ)」を結成。若い行動力・発信力・情熱で、脱炭素社会実現の輪を広げていきます。

2面・3面に続きます



Instagramでも
チームの
活動の様子を
紹介しています！

中央区から 脱炭素社会の 未来へ 踏み出そう

特集

若さと柔軟な発想で
まちの環境を
より快適で豊かに！

TEAM CARBON ZERO

ACTION!



2023 - 2025

1

チームカーボンゼロ プロジェクトが 19人で発足!

カーボンニュートラル達成の目標時期は2050年。その頃、社会を担うのは現在の10～20代の方々です。そこで「Team Carbon Zero(チームカーボンゼロ)」では、区内在住・在学・在勤の中学生から20代の社会人を対象に第1期メンバーを募集。結成後の2年間(令和5～6年度)の活動期間の中で、区内における脱炭素化をリードする存在として多方面で活躍いただきました。



未来を担う若い世代によるプロジェクト

「ゼロカーボンシティ中央区」。その未来を担う10～20代の参加者たち。「脱炭素社会の実現に向けた課題を“自分ごと化”するための学び」「脱炭素行動への挑戦および区内全体へ“共感の輪”を広げるための発信」を軸に活動しました。

チームカーボンゼロの第1期メンバーと事務局。

左/企業や政府など各自の役割を決めてゲームに興じる。講師はたんたんエナジー(株)の木原代表。右上・右下/「子どもとためす環境まつり」の様子。



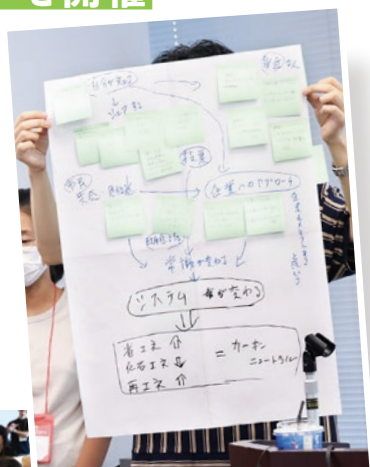
“環境と利潤の両立”をゲームを通じて体験

第1回のワークショップでは、企業の利益と脱炭素の同時達成を目指すカードゲーム「2050カーボンニュートラル」を開催。ステークホルダー(利害関係者)が協力し合い温暖化への注意喚起を行うなど、リアリティ溢れる内容から参加者の学びに大いに役立ちました。



地球温暖化研究の第一人者による ワークショップを開催

第2回ワークショップでは東京大学で教壇に立つ江守教授を招き、「環境経営を実践する企業を応援することで間接的に得られるベネフィット」や、脱炭素への取り組みをポジティブな姿勢で行うための秘訣を学びました。



上/自らの考えをチャートにまとめて発表し合う場面も。左/真剣な表情でワークショップに参加。

3

2年目からは 3つのグループに分かれて 自らアクション!

2年目からは、メンバー各自の自主性に基づく実践行動に主眼が置かれました。6～7人ずつ、合計3つのグループに分かれて個々のテーマと目標を設定。区内の企業や学校と連携を図りながら、脱炭素へ向けた具体的なアクションを開始しました。12月に取組結果報告会を行い、チーム内でグループワークの成果を共有。今後、3月の区長報告会で区長にも報告する予定です。

Naturalものづくり隊

交通広告やInstagramでの発信、区内中学校での体験型授業の実施など、脱炭素に関する啓発・周知活動を軸に活動を展開しました。



上/江戸バス車内に広告を掲示。
下/銀座中学校での授業風景。



カーボンニュートラル ガールズ(カボガル)

カードゲーム「2050カーボンニュートラル」のファシリテーター資格を全員で取得。実際の大会の企画・運営を手掛けました。



上/区民向けカードゲーム大会を開催。
下/ゲーム大会予行練習会の様子。

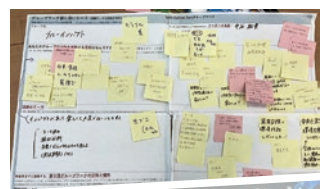


Team Carbon Zero



6月の説明会では活動の概要、SNSを活用する際に注意すべき点などが解説されました。その後行われたアイスブレイク*では次第に笑顔が生まれ、参加者同士がすぐに打ち解けはじめました。

*会議や研修を始める前に簡単なゲームや自己紹介を行い、初対面の人同士のぎこちない雰囲気を和ませる手法。



上/グループワークの方針をまとめたシート。中/企業見学会。下/ワークショップの様子。



2年目から始まる実践行動
3グループに分かれて議論を開始



1年間の活動を通して得られた学びを糧に、2年目から具体的なアクションを開始。今後実践する活動の具体的な内容について、3つのグループに分かれて議論、発表が行われました。

INTERVIEW

チーム カーボンゼロの 皆さんに 話を伺いました！



加藤さん
(中学校2年生)

私たちは、大豆を使ったミートフリー給食を学校で提供しました。それまで「牛のゲップからメタンが大量発生すること」を知らないなど、知識不足を感じていました。でもここで、脱炭素の知識が身に付きました。またコミュニケーション能力も向上。社会人の方々と交流で、知らない業界のことやパワーポイントの使い方などたくさん教えていただきました。“中央区”という共通点から出会えた仲間たちとの縁を今後も大事にしたい。私もそうでしたが、もしも迷っていたら、後悔はしないのでぜひ挑戦してほしいですね。



中村さん
(高校3年生)



渡辺さん(中学校2年生)

私のグループは、全員がファシリテーターの資格を取得。脱炭素への道のりを楽しく体験できるカードゲーム「2050カーボンニュートラル」を用いた区民向けゲーム大会運営を手掛けました。実施の際は初対面の方々と話す機会も多く、コミュニケーション能力を含め、自分の成長につながる体験ができたと思います。最近では、ニュースで流れる環境問題や脱炭素の話題を身近に感じ、異常気象や食品価格の高騰にも敏感になりました。これからも自分ができることに取り組み、周りに広めながら、未来が明るくなるよう行動したいです。



長坂さん
(中学校2年生)

学校で学んだ環境問題を自分自身でも実践してみたいと考えました。ただ、活動期間が長い(2年間)ので、参加前に家族とよく話し合いました。活動してみると、脱炭素やエネルギーの知識が増えたり、コミュニケーションやディベートの能力も上がりました。年々、夏の暑さが厳しくなっていると感じます。二酸化炭素の排出量を減らすには「周りがやってくれるから」ではなく、「自分自身がやる」と決めて取り組むことが大事だと思います。普段から「節電」「リサイクル」について深く考えながら生活していきたいです。



ワークショップで 学びながら プロジェクトが 始動！

活動の1年目は、脱炭素化への道のりを“自分ごと化”する学びが中心。最初に、脱炭素を多様な立場から考えるカードゲーム「2050カーボンニュートラル」を開催。次に気候変動研究の専門家を招いてのワークショップを実施しました。最後に2年目へ向けて、今後の実践行動の内容を発表するグループワークを行い、参加者の主体性を育みました。

ブルーインパクト

代替肉を活用したカーボンニュートラルの普及啓発と企業の環境活動を応援するための施策を考案し、区に提言しました。



晴海中学校の給食で代替肉を使ったメニューを提供(大豆ミートのシェパードパイ)

環境土木部長に区の施策を提言。



活動の締めくくりに取組結果報告会を実施



メンバーが登壇し成果をプレゼン。質疑応答も積極的に行われるなど報告会の会場は熱気に満ちていました(令和6年12月15日)。メンバーの自信と達成感に溢れた表情が印象的でした。



第2期メンバー募集予定です！

Team Carbon Zeroは令和7年度から新たにメンバーを募集し、2期目の活動を始める予定です。環境問題や脱炭素について楽しく学びながら、ゼロカーボンシティの実現を目指し、仲間と共にアクションを起こしてみませんか？

問環境課ゼロカーボン推進係
☎(3546)5406



の活動は今後続きます！